

第237回

岩手朝日テレビ放送番組審議会

(令和2年4月)

株式会社 岩手朝日テレビ

第 237 回岩手朝日テレビ
放送番組審議会（書面による審議）

1. 新型コロナウイルス感染防止からレポート提出により番組審議会を実施。
委員全員から課題番組に対するレポートを提出いただき、意見を集約し
議事録を作成。

2. 委員の出欠（レポートの提出）

委員総数 8名

出席委員数 8名

| | |
|-----|--------|
| 委員長 | 村田久 |
| 委員 | 小松豊 |
| 委員 | 石川健正 |
| 委員 | そのだつくし |
| 委員 | 高橋惣兵衛 |
| 委員 | 佐藤年男 |
| 委員 | 樋口知志 |
| 委員 | 佐竹雅之 |

会社側出席者名

| | |
|----------------|------|
| 代表取締役社長 | 畠山大 |
| 取締役報道制作局長 | 小原洋 |
| 3県特番局担当プロデューサー | |
| | 吉田幸弘 |
| 事務局長 | 三浦茂樹 |
| 事務局 | 波岡功 |

3. 合 評

合評課題：テレビ朝日系列 被災3局共同制作

岩手・宮城・福島 報道特別番組

「復興の狭間で～被災地の希望と現実～」

放送時間：令和2年3月11日（水）15：00～15：50

4. 概 要

岩手、宮城、福島のテレビ朝日系列3局の共同制作番組で、東日本大震災から9年を迎えた3県の現実と課題を生放送で伝える内容

委員意見

- ・復興の進捗が分かり、課題を抱えている現状を把握できた
- ・あらためて震災からの復興を考えるきっかけになった
- ・自然災害の恐ろしさを後世に伝えることは、テレビの役割と再認識した
- ・全体的に重々しく、暗い気持ちになった。希望のエッセンスがあっても良かった
- ・様々な角度から伝えたが、総花的になった感じがあり、未来につながる部分をフォーカスしても良かった